

さんは「実技指導は生徒の安全意識が高まるので効果的」と語った。埼玉県では現在、「3 ない運動」見直しの検討が進められており、同県教育委員会生徒指導課生徒指導主事の澤畑信行さんは「学校に無許可で運転免許を取得した生徒による事故が課題」と述べた。日本二輪車普及安全協会安全普及部長の作田裕樹さんは二輪車業界が高校生を対象に実施している交通安全教育の体制や内容、横須賀二輪車安全普及協会副会長の藤井正一さんは「3 ない運動」の全盛期に「乗せて教える」へ方針転換した神奈川県横須賀市の地域、行政、利用者、二輪販売店が一体となった取組みを紹介した。

モデレーターの稲垣さんは、「『3 ない運動』を廃止したら終わりではなく、その後も高校生のバイクの利用状況をきちんと見つけて、安全で快適に利用できる環境を整備して欲しいと思います。そのためにも学校、行政、警察、業界がそれぞれの立場で、高校生にどのような交通安全教育ができるのかを議論する仕組みづくりが必要です」とパネルディスカッションを締めくくった。

このほか、今回のBLFでは(株)リサーチ・アンド・ディベロップメントのビジネスプロデューサーである堀好伸さんによる「日常の“体感”がファンを生む」という講演も行われた。多くの若者との対話を通じ、若者の消費行動を分析している堀さんが「若者に二輪文化の再燃の兆しがあり、皆さんの活動は一步一步前進しています」と業界関係者にエールを送った。

最後に、日本自動車工業会 二輪車特別委員会委員長の柳弘之さんが「二輪車メーカーは安全・安心で、おもしろいバイクをつくるために最大限の努力をしていくつもりです。これからも地域の皆さんと協力しながら、良い二輪車市場をつくっていきたい」と述べ、BLFは幕を閉じた。

※1 経済産業省、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、全国オートバイ協同組合連合会、日本二輪車普及安全協会、日本自動車輸入組合、全国二輪車用品連合会、日本二輪車オークション協会、中古二輪自動車流通協会
 ※2 三重県、鈴鹿市、静岡県、浜松市、磐田市、熊本県、群馬県、前橋市
 ※3 事故発生率(%)=普通自動車免許取得後1年以内に起こした事故数/普通自動車免許取得者数×100
 ※4 二輪車産業政策ロードマップ=2014年に二輪車関連団体および地方自治体によって策定された二輪車産業の成長戦略。2020年をゴールとした目標設定、課題整理、実行施策および展開イメージがまとめられている。



パネルディスカッションでは二輪車業界が取り組んでいる高校生に対する交通安全教育の事例なども紹介された

Safety Info.

インフォメーション

警視庁とHondaが交通事故防止対策の推進に関する協定を締結

9月27日、警視庁にて交通事故防止対策の推進に関する協定の締結式が行われ、同庁の山本仁交通部長と、Honda 安全運転普及本部の原田洋一事務局長が協定書に調印した。今後、「SAFETY MAP※」に表示されている急ブレーキ多発地点情報を警視庁に提供するなど、道路利用者の安全確保に向けて相互に協力していく。山本交通部長は「この取組みを道路環境の整備や交通

安全教育の対策につなげ、東京都民の安全確保に努めていきたい」と挨拶。原田事務局長は「私どもが提供する東京都内の急ブレーキ情報をハードとソフトの両面の対策立案に活用いただき、1件でも悲惨な交通事故が減れば、これに勝るものはありません」と語った。Honda が、このような協定を各警察本部と締結するのは警視庁が全国で4例目となる。



警視庁 山本仁交通部長(左)と Honda 安全運転普及本部 原田洋一事務局長(右)

※SAFETY MAP=Hondaが開発したソーシャルマップ。日本中を走るHondaインターナビ(双方向通信型のカーナビ)搭載車から通信で送られてくるデータをもとにした急ブレーキ多発地点情報をはじめ、事故多発エリア情報やゾーン30情報などが表示されている。パソコンやスマートフォンで自由に閲覧でき、自分が危険だと感じた場所を投稿することもできる。詳細は以下のホームページを参照。<https://safetymap.jp/>

第48回全国白バイ安全運転競技大会開催

全国から集まった白バイ隊員が白熱した競技を展開



傾斜走行操縦(スラローム)競技。Hondaは大会の審判業務などに協力した

10月7日、8日の両日、自動車安全運転センター安全運転中央研修所(茨城県ひたちなか市)にて第48回全国白バイ安全運転競技大会(主催:警察庁)が開催された。この大会は、全国の白バイ隊員の安全運転技能の向上、士気の高揚及び隊員相互の融和団結を図ることを目的として、1969年より実施されている。今年は、46都道府県警察および皇宮警察から、女性隊員40名を含む188名の選手が参加。バランス走行操縦競技、トライアル走行操縦競技、不整地走行操縦競技、傾斜走行操縦(スラローム)競技の計4種目によって熱戦が繰り広げられた。

主な結果は以下の通り。

- 団体の部
 - (第1部・9都道府県警察)
 - 優勝/警視庁
 - 第2位/神奈川県
 - 第3位/愛知県
 - (第2部・37道府県警察・皇宮警察)
 - 優勝/佐賀県
 - 第2位/宮崎県
 - 第3位/群馬県
- 個人競技の部
 - (男性の部)
 - 優勝/北村匠(神奈川県)
 - (女性の部)
 - 優勝/中前まどか(警視庁)



不整地走行操縦競技



閉会式では各部の入賞者が表彰された